

観光の情報化を目指す京都の取組

～観光情報基盤～

2011年11月28日

ITコンソーシアム京都

ITコンソーシアム京都

- ITコンソーシアムとは

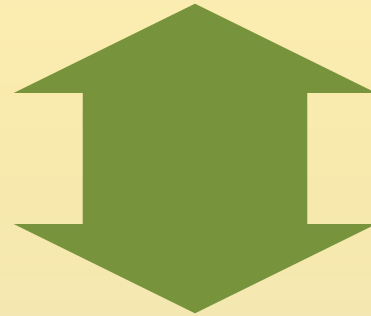
- 産学公が連携し、歴史的・文化的資源や知的集積、先端産業など京都が有する特性を活かして、ITの活用により京都府域の発展と産業の活性化を図り、府市民生活の向上に寄与していくことを目的とする組織。
- 京都高度情報化推進協議会と京都情報基盤協議会との組織統合により、平成18年に設立。

- 観光情報基盤部会

- 平成22年度に京都大学学術情報メディアセンターの美濃導彦教授が会長に就任。
- 調査研究活動として新たに「観光情報基盤検討部会」を設置。

観光情報基盤の検討体制

ITコンソーシアム京都
観光情報基盤部会



バーチャルラボ
観光とコンピューティング京都
研究所

京都大学情報学研究科
京都リサーチパーク
京都高度技術研究所

これまでの活動実績

観光産業の識者との意見交換 観光を取り巻く環境変化への気付き

- **平成22年度第1回講演会** 新成長戦略「観光立国」を見据えた国際観光都市・京都の現状と展望
＜講師＞ 小林 英俊 財団法人日本交通公社常務理事
意見交換 ＜テーマ＞国際観光都市・京都にふさわしいIT基盤とは
- 小林 英俊 財団法人日本交通公社常務理事, 美濃 導彦 ITコンソーシアム京都会長, 高田 公理 佛教大学社会学部教授
- **平成22年度第2回講演会** 交通関係者の立場から見た京都(関西)観光の現状と展望
＜講師1＞ 樋口 賢 阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 運輸部(営業担当) 調査役
＜講師2＞ 星乃 勝 株式会社スルッとKANSAI 営業促進ビジネスサークル 部長
- **平成22年度第3回講演会** パワーブロガーを活用した観光戦略
＜講師＞ 坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学 芸術学部観光デザイン学科 教授
- **平成22年度第4回講演会** ホテルから見た京都観光
＜講師＞ 横山 健一郎 ハイアットリージェンシー 京都 総支配人
- **平成23年度第1回講演会** 「体験」する京都観光
＜講師1＞ 臼井 郁司、榎本 潔 有限会社手づくり市 代表
＜講師2＞ 藤田 功博 株式会社のぞみ 代表取締役社長



「観光とコンピューティング」国際シンポジウム

観光産業の識者との意見交換 観光を取り巻く環境変化への気付き

開催概要

【テーマ】	観光の今、そして伝統から未来へ
【開催日】	平成23年6月22日(水) 10:30~18:00
【開催会場】	京都市リサーチパーク サイエンスホール(1号館4階)
【プログラム】	<p>◇基調講演 『経済文化と観光 ~ 情報技術の役割と可能性 ~』 ＜講師＞ スタンフォード大学 名誉シニアフェロー、一橋大学名誉教授 今井 賢一氏</p> <p>◇パネル1 『現在の観光トレンド』 ＜オーガナイザー＞ 京都嵯峨芸術大学 芸術学部観光デザイン学科 教授 坂上 英彦氏</p> <p>◇パネル2 『伝統文化を次の世代の観光へ』 ＜オーガナイザー＞ 武庫川女子大学 生活環境学部 情報メディア学科 教授 藤本 憲一氏</p>
【主催】	ITコンソーシアム京都、(財)京都高度技術研究所、京都市リサーチパーク(株)
【後援】	京都府、京都市、京都商工会議所、京都大学大学院情報学研究科、学術情報メディアセンター

部会・バーチャルラボの今後の目標

実証実験を無駄に終わらせない

- ・ 実証実験の活用と受け皿づくり
- ・ 京都観光の情報化戦略を提言

京都観光をもっと情報化する

- ・ 観光情報・コンテンツの収集と提供
- ・ 旅行者の行動・満足度の測定

ビジネスとして自走

- ・ 民間企業・観光団体と連携したプロジェクト

京都市・京都府に
対し、
観光情報化戦略
を提案/提言

前提の変化

観光産業が想定してきた観光旅行の前提が変化

団体旅行



個人旅行

日本人主体



多国籍化

(日本, 欧米, 中国, アジア)

TV, ガイドブック



スマートフォン, PC
(Blog, Facebook, Twitter)

環境の変化

個人/多国籍化に伴い、情報は自分で探すものになり、
PCやスマートフォンでの情報収集が普及

観光地の情報や口コミを
BlogやHPで集めて
目的地決定



旅行者はBlogや
評価サイトにコメント投稿

お勧めルート、移動経路を
ネットで検索



閲覧履歴、検索履歴、
行動履歴が蓄積

携帯やスマートフォンの
GPS地図を頼りに街に出る



観光地側でもネットへの
コンテンツの集積が進む

環境変化に対応したアクション(検討中)



BlogやTwitterでの旅行者自身の情報発信

- 「その場」で情報を発信してもらう為の通信インフラ整備
- 旅行者の主観・嗜好が反映されたコメントからの評価抽出、満足度の測定



Web検索/閲覧履歴と実空間での行動履歴

- 滞留地点抽出による新たな観光資源の開発
- 過去の履歴に基づいた旅行者行動のモデル化
- これらを活用した事業者向けコンサルティング

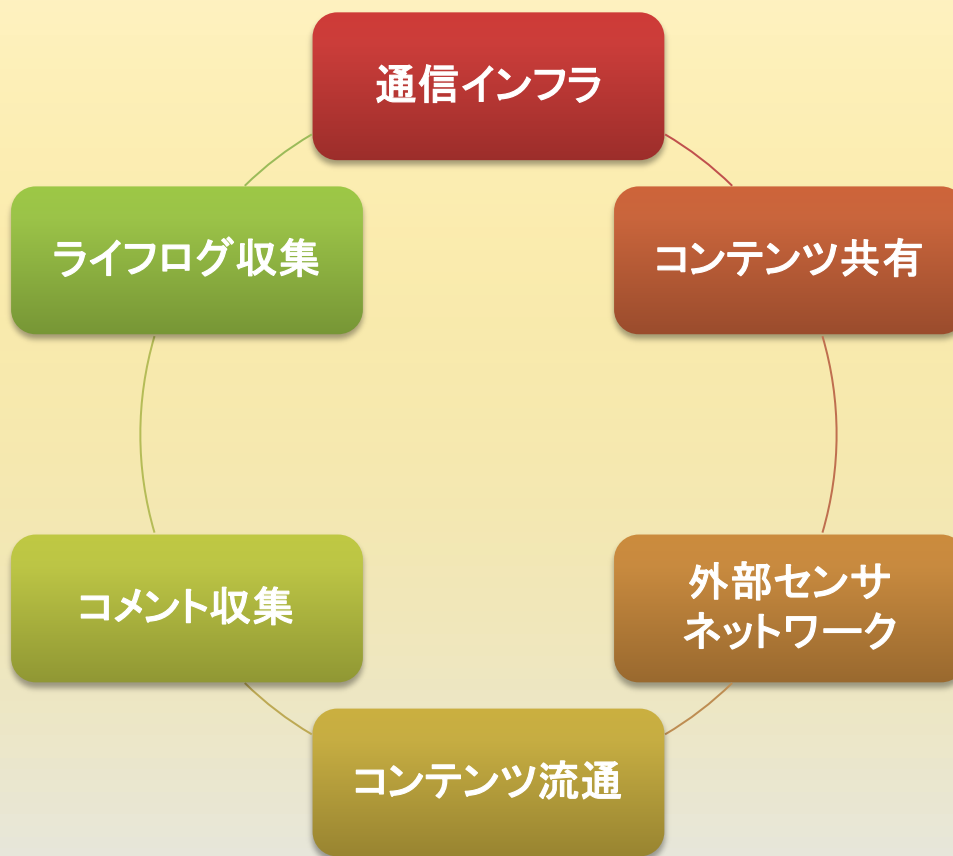


観光コンテンツの集約

- 観光地のガイド情報, リッチコンテンツ, 口コミの共有
- 外部センサによる天候情報, 渋滞情報の活用
- これらコンテンツの流通

観光情報化基盤

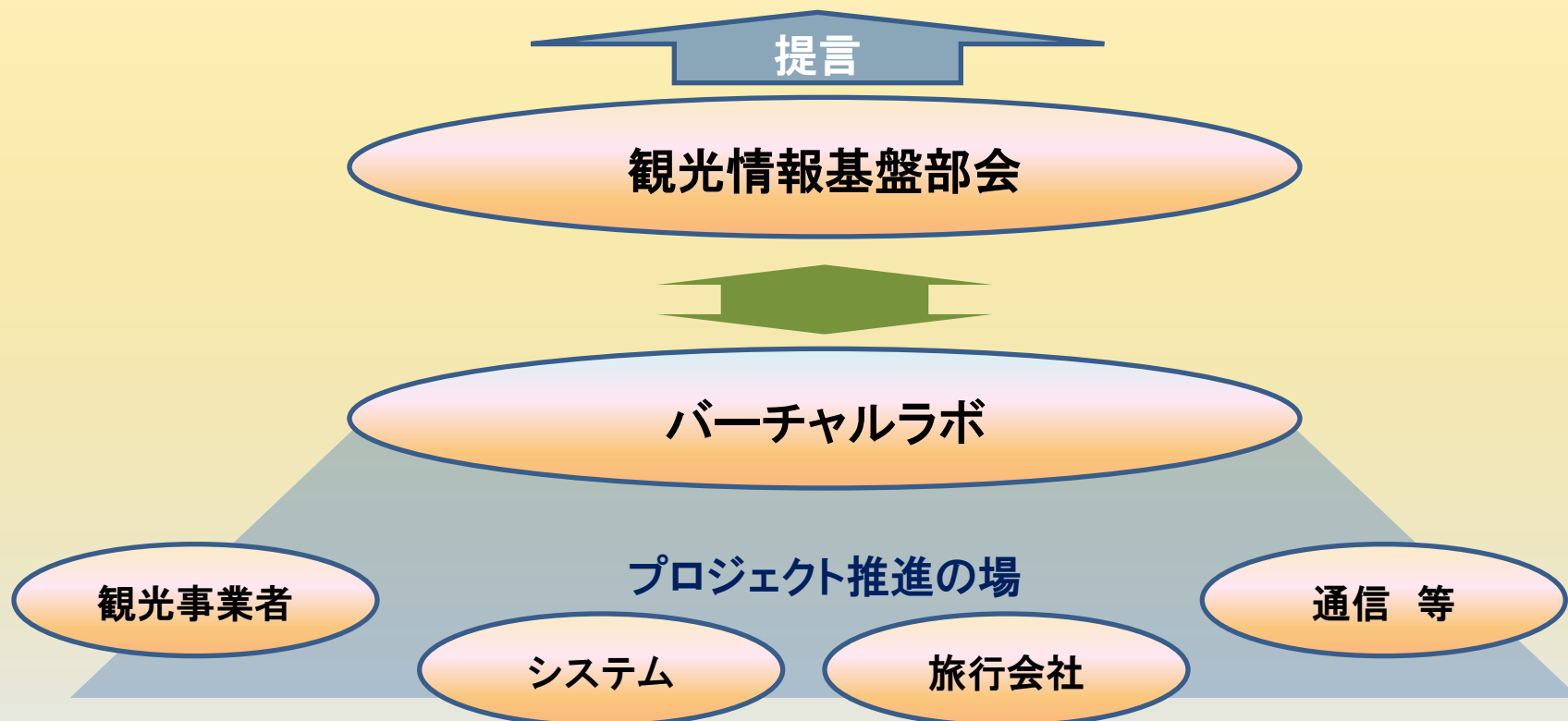
観光の情報化に必要な基盤のパーツは数多いので
戦略に沿って少しずつ整備



今後の観光情報基盤の推進体制

検討の場から推進の場へ！

京都市・京都府・周辺自治体・観光団体



ご清聴ありがとうございました

<http://www.it-kyoto.jp/>